

特別展 海を渡った古伊万里～ウィーン、ロースドルフ城の悲劇～

広報用画像申請書

宛先：大倉集古館 (担当) 学芸部 四宮美帆子 宛

FAX：03-5575-5712

■ 図版使用に際しての注意

- ・本展覧会の紹介を目的とする内容にのみご使用ください。
- ・ご申請いただいた記事・番組・WEBサイトに限り、使用が可能です。
- ・WEB上で使用の際はコピーガードを施し、解像度72dpi以下にしてください。
- ・使用後のデータは破棄してください。
- ・画像の文字のせ、加工はご遠慮ください。
- ・図版使用の際は必ず作品キャプションを載せてください。
- ・画像使用の掲載誌や放送DVD等は1部ご送付ください。

希望	No	作品キャプション
	1	「色絵唐獅子牡丹文亀甲透彫瓶」(部分修復)、有田窯、1700～1730年代、ロースドルフ城
	2	「色絵松竹梅鶴文八角大皿」(修復)、有田窯、1700～1720年代、ロースドルフ城
	3	「色絵松竹梅鶴文八角大皿」(修復前)、有田窯、1700～1720年代、ロースドルフ城
	4	「色絵花卉文花瓶」(組み上げ修復)、有田窯、19世紀後期、ロースドルフ城
	5	「色絵唐獅子牡丹文蓋付壺」、ヨーロッパ、19世紀、ロースドルフ城
	6	「白磁大壺」(組み上げ修復)、マイセン窯、20世紀初頭、ロースドルフ城
	7	「藍釉金彩風景文バブーシュ形置物」(修復)、マイセン窯、19世紀前半、ロースドルフ城
	8	「色絵松竹梅岩鳥文輪花皿」、有田 柿右衛門窯、1670～1690年代、 佐賀県立九州陶磁文化館(柴田夫妻コレクション)
	9	「色絵梅菊文大壺」、有田窯、1690～1730年代、佐賀県立九州陶磁文化館
	10	ロースドルフ城 陶片の間
	11	ロースドルフ城 陶片の間
	12	ロースドルフ城

※展示替えなし

貴社名		
ご担当者名		
TEL/FAX	TEL:	FAX:
E-mail		
媒体名		
発行・ 放送予定日		

No. 1



No. 2



No. 3



No. 4



No. 5



No. 6



No. 7



No. 8



No. 9



No. 10



No. 11



No. 12

